

高岡市老連だより

2019 1月号

第25号

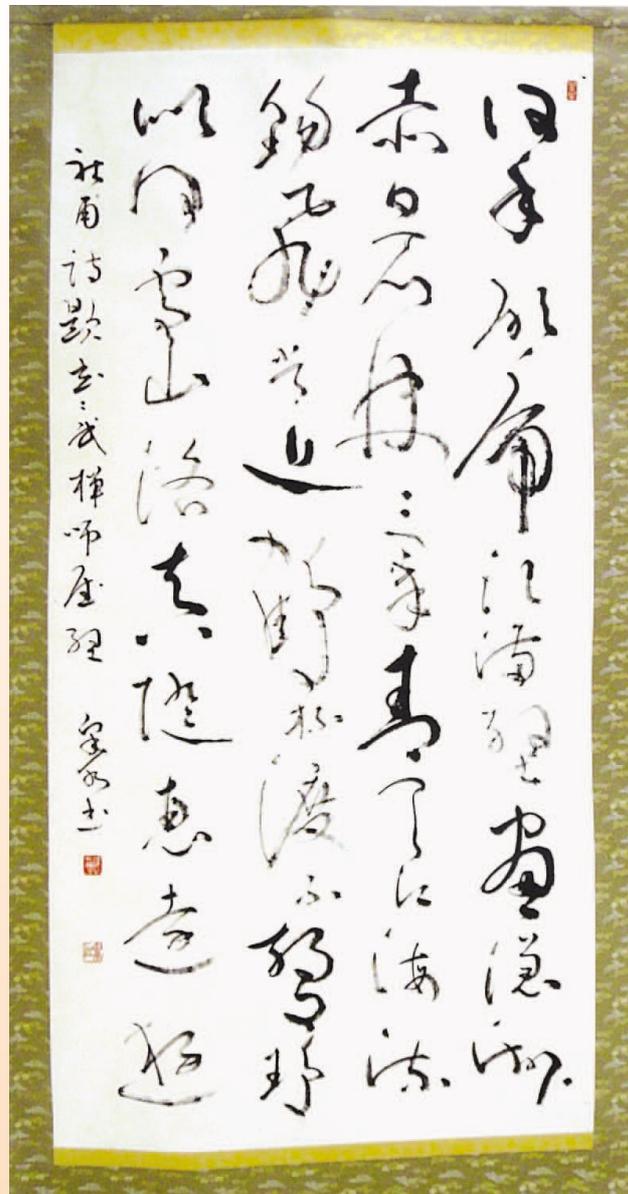
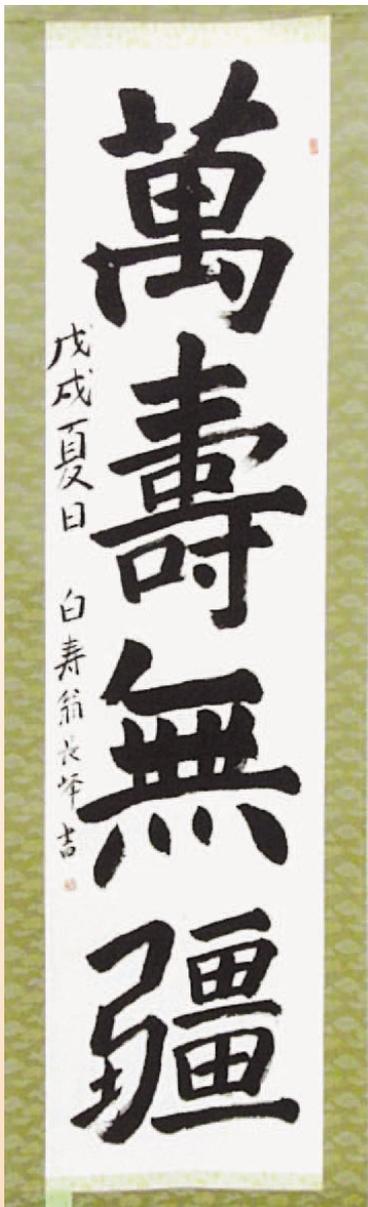
平成31年1月1日発行

編集 高岡市老連広報委員会
 発行 高岡市老人クラブ連合会

高岡市博労本町4番1号 TEL (23) 7900

Eメール sirouren@aroma.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.senmai.ke.net/sirouren/>

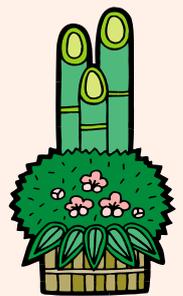


石田利長 (小勢地区)

後谷かをる (牧野地区)



年頭のご挨拶



市老連会員の皆様、明けましておめでとうございます。皆様にはご家族とともに希望に満ちた新しい年を迎えられ心よりお慶び申し上げます。

日頃より市老連の活動並びに多くの事業にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。昨年は「ねんりんピック富山2018」が開催されました。全国から約一万人の選手を迎え盛大にかつ楽しく式典、競技が催されました。高岡市はソフトテニス、ゲートボール、グラウンドゴルフ、川柳の会場となり、また同時に開催された「地域文化伝承館」では高岡市福岡の菅笠が展示され、各地域の踊りや歌などが披露されました。各県の方々との交流もでき、県、市にとっても賑わいと経済効果があったと思います。

今年の大きな行事のひとつとして富山市で東海北陸ブロック老人クラブ研修会が開催されます。クラブ会員の増強、クラブ運営の活性化等について話し合います。高岡市老連も会員の減少、単位クラブの解散という課題を抱えています。この課題をどう克服していくか、今一度、原点にかえって考え行動していくかねばなりません。

お互いに楽しくスポーツや文化芸能活動に積極的に参加し、その活動を支えるリーダーが老人クラブの運営を前向きにできる仕組みづくりが大事です。本年から、ぜひ皆様のご協力をいただいて役員が中心になってこの課題に取り組みたいと思います。高岡市老連では「のぼそう健康寿命！担おう地域づくり」をテーマに多くの仲間づくりをめざしています。仲間と一緒に健康で楽しい毎を送れるように、会員お一人お一人がお互いに声かけあって各地域の老人クラブが楽しく賑やかになっていくよう願っています。

本年も皆様の一層のご活躍と益々のご健勝ご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

高岡市老人クラブ連合会

会長 小山 智克

総務委員会事業報告

委員長 中川 裕行

◆第四十八回 富山県老人クラブ 大会に参加

日時 平成三十年十一月五日(月)
場所 富山県民共生センター
サンフォルテ ホール

「第四十八回富山県老人クラブ大会」が開催され、当日は、老人クラブの育成及び老人福祉の分野で功績のあった各郡市の老人クラブ団体及び個人に対する表彰が行われ、高岡市老連からは次の方々が県老連会長表彰を受けられました。

個人表彰 木間 美也子

(木津地区女性部長)

伊藤 勝美

(福岡地区女性部長)

団体表彰

伏木地区 国分寿会
(会長 西 廣志)

◆第三十一回 全国健康福祉祭 とやま大会

(ねんりんピック富山2018)

「地域文化伝承館」に出展及び

出演

日時 平成三十年十一月三日(土)～
五日(月)
場所 とやま自遊館 自遊館ホール



第31回全国健康福祉祭とやま大会「地域文化伝承館」



地域文化伝承館

”地域文化伝承館とは”

高齢者が長年培ってきた豊かな経験・知識・技術を活かして取り組んでいる様々な地域文化・生活文化をその実演・展示を通して披露し各世代間交流を図ります。また、地域に伝わる民俗芸能・郷土芸能や老人クラブ等が日頃取り組んでいる多彩な健康・生きがいづくり活動を紹介・発表して老人クラブをはじめとする高齢者の組織や活動への理解を高めることを目的として開催されるものです。

高岡市老連からの出展及び出演

・越中福岡の菅笠振興会

(菅笠の展示及び笠縫いの実演)

・音楽ボランティア

リンベル

(ハンドベルによる音楽演奏)

・3B体操の会

(3B体操の実演)

・弥紀(みのり)の会

(伏木帆柱起し祝唄)

◆平成三十年年度 単位クラブ
会長研修会

日時 平成三十年十一月二十二日(木)
場所 くつろぎの宿 うみあかり
参加者 市老連単位クラブ会長他
百六十二名

老人クラブは、各地域において健康・友愛・奉仕の三大運動をはじめ、高齢者の生きがいと健康づくりを進める活動を展開し、高齢者の仲間づくりを進めています。



単位クラブ会長研修会

今年も、各地区の単位クラブ会長が一堂に集まり、意見交換を行い、親睦の輪を広げる目的で次の内容により開催されました。

小山会長の挨拶のあと、第三ブロック伏木地区の西 廣志さんによる活動発表があり、続いて浄土真宗本願寺派 法順寺 住職の圓山^{やま}望^{のぞみ}氏の「人生の一大事」と題してユーモアたっぷりの講演がありました。

その後、懇親会が行われ、山田副会長の乾杯の音頭で開会し、会員同士が和やかな雰囲気の中で親睦を深め大盛会のうちに終了しました。



文化教養委員会事業報告

委員長 国奥 勉

◆「高岡市高齢者趣味の作品展」

日時 平成三十年十月五日(金)～六日(土)
場所 高岡市ふれあい福祉センター
一階及び二階エントランスホール

今年も次の通り、多くの皆さんの作品が出品されました。



高岡市高齢者 趣味の作品展

日本画	3
洋画	6
版画	1
書	16
写真	7
彫刻	3
工芸	5
手芸	17
合計	58



高岡市高齢者 趣味の作品展



パークゴルフ大会

体育振興委員会事業報告

委員長 山田 孝雄

◆第十一回パークゴルフ大会

開催日 平成三十年九月十四日(金)

場所 高岡市スポーツ健康センター

パークゴルフ場

参加者 百十九名

《成績》

【男性の部】

優勝 中木 稔(東五位)

準優勝 伊東伊佐雄(東五位)

三位 八嶋 信芳(戸出)

【女性の部】

優勝 神谷ミオ子(山王)

準優勝 古埜フサ子(能町)

三位 村西 律子(牧野)

◆スポレク高岡シャフルボード大会

開催日 平成三十年九月二十八日(金)

場所 高岡市ふれあい福祉センター

体育館

参加者 百六名

《成績》

(午前の部)

一位 吉村 昭雄(佐野)

二位 寺井 清勝(佐野)

三位 吉田 政子(成美)

〃 向山 喜子(成美)

(午後の部)

一位 竹田 富子(二上)

二位 尾谷 久男(太田)

三位 浜井 信一(太田)
〃 松尾 安弘(守山)



スポレク シャフルボード大会



◆第十二回 高岡市高齢者体育祭

開催日 平成三十年十月十八日(木)
場 所 高岡市民体育館
参加者 約一三〇〇名(内選手七〇〇名)

高岡市高齢者体育祭が、高岡市民体育館で開催されました。

昨年度優勝の第七ブロックより優勝杯が返還され、小山市老連会長の挨拶のあと、つづいて高橋高岡市長(代理 村田副市長)、福井市議会副議長、本田社会福祉協議会地域福祉課長よりそれぞれ激励のことがあり、第七ブロックの下村成一さんの力強い選手宣誓のあと、アトラクションとして恒例のフォークダンスが行われ、引き続き満水レース・ラグビーレースなどの種目別にブロック対抗の団体競技が行われ、熱戦が繰り広げられました。

《総合成績》

- 一位 紫チーム第七ブロック
(福岡・山王・大滝・西五位・赤丸)
- 二位 白チーム第二ブロック
(野村・定塚・下関・平米)
- 三位 黄チーム第三ブロック
(伏木・古府・太田)



高齢者体育祭

◆カローリング大会

開催日 平成三十年十月二十六日(金)
場所 福岡総合文化センター

参加者 Uホール アリーナ
三十二チーム 九十六名

《成績》

優勝 福岡上叢チーム

準優勝 (山田幸夫・山田雅子・福島加代子)
福岡立山チーム

三位 (田畑福正・永井征子・堀田令子)
中田Aチーム

飛び賞 (長森正美・高田富夫・高田 守)
五位 下関Bチーム

(新 信子・杉田恵美子・館田悦子)
十位 中田Cチーム

(明地義成・今川 清・堺谷一美)
十五位 福岡コスモスチーム

(濱木健良・濱木辰子・丹羽文雄)
二十位 福岡ひばりチーム

(林 昭子・一村栄子・本林寿和子)
二十五位 矢部Aチーム

(前田正二・鋤田欣弥・草野誠一)
B・B賞

ももチーム

(中島ちよ・吉国外志子・額谷久美子)



カローリング大会



各ブロックの行事

第一ブロック(成美・能町・二上・守山・
牧野)

○第十回パークゴルフ大会

九月二十六日(水) 二上浄化センター緩衝緑地帯公園パークゴルフ場
各地区十五名以内の選手にて団体戦を実施
参加選手七十五名(男子六十五名、女子十名)
・優勝 二上地区 ・次勝 成美地区
・三位 能町地区 ・四位 牧野地区
・五位 守山地区

○第二十五回シャフルボード大会

十一月八日(木) 万葉社会福祉センター
各地区十名以内の選手により個人戦で実施
参加選手四十八名(女子二十七名 男子二十一名)

試合は五コートで実施し、選手は五名ずつ
十パートに分かれて試合し、各パートの一
位十名を入賞者として表彰

○訪問支援活動

守山地区で実施
六月より十グループで四十七世帯の訪問活
動実施

(今後の予定)

○役員研修会

三十一年三月 まんよう荘で開催予定
 内容 ・三十年度事業報告・決算見込み
 ・三十一年度事業予定・予算計画

第二ブロック(野村・定塚・下関・平米)

○教養講座

九月二十日 定塚公民館
 交通事故未然防止・特殊詐欺

○役員会

九月二十七日 定塚公民館
 芸能祭ほかについて

○第三十七回芸能祭

十一月一日 東部老人福祉センター
 ○教養講座

「認知症予防・健康づくりについて」

十一月三十日 定塚公民館

○第二ブロック役員反省会

十二月上旬

○役員会

三月下旬 定塚公民館
 平成三十年度事業・決算報告



第三ブロック(伏木・古府・太田)

○ほよの会 若返り大会

九月 伏木老人福祉センター

○第一回グラウンドゴルフ大会

十月 伏木国分海浜緑地公園

○第三十二回北老協演芸大会

(北老協発足二十五周年記念)

十一月 伏木老人福祉センター

○ほよの会 年忘れ演芸会

十二月 伏木老人福祉センター

○健康づくり体操研修会

三十一年二月 伏木老人福祉センター

○その他 年間活動行事として

・健康づくり体操 毎月第二・第四火曜日
 (万葉スポーツセンター)

・川柳会 毎月第四日曜日
 (伏木老人福祉センター)

・訪問支援活動 各地区毎実施

第四ブロック(戸出・中田・二塚・小勢)

○認知症予防教室

十一月中旬 各地区実施

○いきいき高齢者の集い

十二月六日 高岡市スポーツ健康センター

○役員研修会

二月二十二日 いこいの村磯波風

○その他、年間行事として

・健康体操教室(毎月第二・第四木曜日)
 戸出コミュニティセンター

・訪問支援活動(年六回 各地区毎に実施)

第五ブロック(博労・立野・東五位・福田・川原・佐野・木津)

○役員研修旅行

十月九日(火)〜十日(水)

○第九回パークゴルフ大会

十月五日(金) 高岡市スポーツ健康センター

○いきいき高齢者の集い

十一月十四日(水) こぶし荘

参加地区(佐野・立野・木津・川原)

○新年懇親会

一月三十日(水) 博労公民館

第六ブロック(石堤・横田・国吉・西条)

○訪問支援活動

西条地区にて 四月より実施

第七ブロック(福岡・山王・大滝・西五位・五位山・赤丸)

○ダンス教室

九月十一日・九月十八日・九月二十五日

福岡にぎわい交流館

○スポーツ大会

九月二十九日 Uホールアリーナ

○歩こう会

十一月一日 こぶし荘

○福祉前句大会

十一月十六日 福岡健康福祉センター

○認知症予防教室

十二月七日 Uホールイベントホール

○役員研修会及び新年会

三十一年一月中旬 こぶし荘

○第二十一回室内ペタンク大会

三十一年二月中旬 Uホールアリーナ



随想

デイサービスに通うたのしみ

戸出地区 光明寺老人クラブ

桃井 玲子

「え、あんたゆめいっとんがけ。どこ悪いがけ」「アタマ。」と笑う。ゆめへいくようになり二年すぎた。ゆめでは、体を動かすこと、ゲーム、体操、四則計算、漢字を書くなど自分のできる範囲内でやっている。漢字は小六から中学・高校まで頭に入っていたのに忘れていたことにおどろく。辞典で調べて漸くしあげている。一番うれいのは入浴、温泉なので心も体も温まりかぜなどひいたことがない。次にうれいことは友人との語らい。ほんとうによい友に恵まれた、女学校の同級生。私の悩みをよくきいて下さる、ストレス解消して下さるありがたい友人である。

入所したところは一階にいた、仲よし仲間のテーブルでいつも楽しかった。よい仲間にも恵まれ幸せだった。しかし恥をかくことも多く赤面の至り。お茶会や子供たちとの語らいの行事がよくあった、その度毎に私にマイクがまわってくる、今まで子供の前では平気に話していたのに大人のみなさんの前ではびびってしまふ。しどろもどろやっとなりて赤面して終え

ることが多かった。それなのに友は「よかつたよ」といつもなぐさめの言葉があった。ちつともよくなかつたのにほめられてうれしかった。

しかし今、二階にあがったらマイクがまわつてこないのうれい、一週間に一度の出会いであるがほんとうに待ちどおしい。やさしい友よ、ありがとう。

旅する人

五位山地区 西明寺長寿会

山本 勝

「月日は百代の過客にして、行きかふ年も又旅人なり。」

俳人松尾芭蕉の奥の細道の最初の一節、教科書にも使われ良く知られる。

「予も片雲の風にさそはれ漂泊の思いやまず」と謙虚に見えるがどうして、各地の門下同人の情報、資金、ネットワーク等の助けを得て、客死も覚悟の男子生涯の一大事業であったらう。今の「ちよつと新幹線で東京まで」とは違う壮大な時空へのチャレンジ。

・人々の一生とは旅することと見つけたり・である。

「歳月の、流れゆくまま流れ去る(都はるみ「草枕」)季節はわたしを置いてゆく、花の命

も知らぬげに。

日々衰え細りゆく己が姿にうろたえ鏡に向かいて「汝、容姿貧しゅうなりゆくとして嘆くこと勿れ」と言い聞かせても心穏やかならず。あまたの高価な健康美容商品に手を染めてみても、やがて空しい抗いであることを知る。

「若い日の美しい、わたしを抱いてほしかった(石川さゆり「風の盆恋歌」)と夕べの帳に涙する。年月と時間は無情にも刻々とただ時を刻むだけ、こちらの思いや事情にかまってはくれない。

自分はというと八十年前に産声をあげた。母が流行り病にかかって体を崩し母乳が充分に出ず、乳飲み児を抱えた父は母乳乞いをして廻ったという。

この子はまともに育つのだろうかと周りが心配したらしい。

そのためか肥立ちが悪く虚弱体質で、疲れきったマラソンランナーのように口を開けて息を吸い、痩身を前かがみにしてまるで精気がない子供だったが、どうした風向きか、大きくなるにつれ大病や大ケガ、欠勤長休みとは全く無縁、社会の辛酸をなめながら挫折、そして復活の厳しさも経て一昨年とうとう八十の坂を越えた。

「思えば遠くへ来たもんだ(海援隊・武田鉄矢)」、又「生きるとは旅すること(美空ひばり・川の流れるように)」が胸をよぎる。

八十峠 見返れば遠く 雲いく重
この旅はもう少し続くのだろうか。

夕映えふたり

ご飯ですよと呼ぶ声は

昏耳には届かぬが

わかった行くよと腹時計

三代かけて開拓いた畑

あしたも来るよとつぶやきながら

ゆっくり急いで坂道下る

向かうわが家は二百歩足らず

夕餉の支度がほのかに匂う

帰る家路は夕映えのなか

俺は鳥だ

赤丸地区 長寿会

石川 正一

人間の社会には冤罪えんざいというものがあって大きな問題になっている。俺たち鳥も冤罪に悩まされてきた。

たとえばトマトや胡瓜が食われた、西瓜の中味がごっそりやられたなどと、人間どもはいう。でも俺の知り合いの爺さんは、俺たち鳥に理解がある。

畑の畔などで仲間の爺さんたちという。なに

もかも鳥のせいにしたら、あいつらが可哀そうだ。ほら、よく見ろよ中味を上手に食べて皮はそっくり残してある。

中味を食うときにあけた穴を下に、チャツカリ元どうりにしてある。鳥はそれほど器用ではないのだ。真犯人はハクビシンだ。さらにいう。

西瓜をつついて鳥を見たことがあるかいな、西瓜もトマトも夜中にやられていると俺たち鳥のために弁護している。頭の悪い人間どもは、なぜそのことが理解できないのだろうかと思う。

俺たち鳥仲間集団で行動するように心がけている。だれかが仔犬の轢死れきした体を見つけたとしよう。発見者は必ずみんなに知らせる。どうやってだと、野暮なことを聞くな、カーといえそれです。こうしてみんなで分け合って食べる。

今年の夏は長く、つい最近まで俺たちの食糧事情はそれほど悪くなかった。取り残した渋柿などもあつたし、田んぼの足跡の水溜には、小魚や田螺たにしもいたのでまずまずの生活ができた。

だが、俺たちの住む高岡市一帯にも寒気がせまり、霜の降りる朝もあるようになった。もう一つ気になることがある。

あの爺さんがさっぱり顔を見せないのだ。インフルエンザの予防接種を爺さんは受けただろうか。いずれにしても俺たちもあの爺さ

んも暖かい春を迎えたいものだ。

夫婦のひと時の楽しみ

定塚地区 西畑町福朋会

加藤 孝文

私達夫婦は、時折散策を兼ねて市内のショッピングセンターに出掛けている。車を運転していた頃は、当たり前のように何処にでも気楽に出掛けていたが、老化も進み五十年間以上の無事故無違反の安全運転に自信が持てなくなって、今春運転免許証を自主返納した。当初、差程にも思っていなかったが日々が経つにつれ、やっぱり不便でもう少し頑張れば良かったかなとも思っている位だ。

一寸離れた内科医院に、定期的に通院するのにタクシー利用と経済的にも後期高齢者の今は負担になる。家の中にいる日も多くなり、悪天候になれば更に外に出る機会が無くなる。運転による精神的負担は無くなったものの、日頃の買物までバス利用の機会が多くなり、決して良い住環境とは云い難くなった。私達の周りでは、同様の思いをしている方も多い。当然の様に、今迄の買い物先にも行けなくなつて、行動範囲も狭まり寂しき限りだ。

此の様な事から、手頃で退屈せず気分転換になると、夫婦で時折バスに乗って買物がて

ら駅南のショッピングセンターに出掛ける。県下一の広さを誇る店内を、買物カートに身をまかせ彼方此方と見歩くのも楽しいものだ。膝や腰の痛みも忘れ、華やかな各店のウインドウショッピングを楽しむが、後期高齢者の私達にはそう欲しい物も無く只見歩くだけだ。家内が、店内を見回っている間に私は疲れて、椅子がある場所で一休みをする。混雑を避けて平日の午前中に出向いているが、以外な事にシニア層のペアの来客が多い。

食楽街に近い入口で休んでいると、昼食時なので、何処の店に入ろうかと考えている老夫婦を多く見受ける。私達も、行く度毎に入り食事を楽しんでくる。昼時なので、何処も満席で賑わっている。私達はたこ焼きが好きなので二階のフードコートに上がり、食の二次会である。たこ焼きを行列に並び買い求め腹に収める。

胃ガンの手術で、三分の二を切除したので以前に比べ余り食べられない。見回すと、私に近い年齢の人々も多く美味しそうに食べている。牛丼や天丼等、意外と油濃いものを類張る様に食べておいでる。羨ましい限りだ。

元気だなぁ、旨そうに食べてるなぁと感心する。娯楽施設に乏しい高岡で、此処に来れば半日程度は楽しく過せる。老若男女を問わず、広い箇所から多くの人々が集まってくる。現在、新高岡駅方向に隣接し、増築工事が進められていて、日帰り入浴施設等も出

来るそうだ。風呂好きの私には、出来れば通い詰める事になりそうだ。私達、高齢者にすれば有難い事、来年のオープンが楽しみである。

私達夫婦の様な、行きたくても簡単に出掛けれなくなつた者には、バス利用で気楽に出掛けられる施設が欲しいものだ。高岡市の、逼迫した財政危機の元では、新しい施設づくりは無理の様だ。民間活力による地域住民の福利を推し進めて貰いたいと願う此の頃である。

風車 (8)

なぜ人工知能AIは数学哲学と関係するのか？

大滝地区 荒屋敷老人クラブ

中谷 正昭

明けましておめでとう御座います、歴史は昭和から平成にかわり次の時代へとかわる。世界経済は2%以上成長に向かって第4産業革命が宇宙戦略時代へと変化して、AIが活用されている。

AIはイノベーションとして1965年にジョン・マッカーシ氏の若い数学者が国際会議(ダートマス会議)で最初に発表された。

この目的はコンピュータを科学的に知能（推論、記憶、計算、知覚）を理解する事にあつた。

数学哲学（イマン・ハッキング、トロント大名誉教授提言）は自然界の全てについて数学的に表現することが出来る。即ち、ギリシャで始まった幾何学、インドで始まった代数学から微分、積分、物理、化学、生物、地質、土質力学、ニュートン力学、航空力学、電気、光学、経済にいたるまで全てについて数学で表現する事がAIを生む「基本」となっている。AIは数学的に連続性による現象を統計学による指数関数を表し、微分する事にある。老人に関係ないと思いがちであるが、一つ例をあげれば、自動車の速度を微分すると加速度になり、安全に必要な車間距離になる。二つ目は経済の諸原資をランダムに指数関数に表すと方向性が生まれ、経営企画が出来る。三つ目はロボットは知能をコンピュータに変化させる一つである。

当地域の創世としてアルミニウム資源の活用や、環境資源の活用に優れている。AIの半導体需要が急増することから、北陸地域はその研究開発と中小企業グループの人材発達の基礎となれば良いと思う。

俳句

平米地区 渌寿会

作道璃千子

つつかれて席を譲られ初電車

読み進む端から忘れヒヤシンス

釉薬の流れて醸す冬銀河

平米地区 松和会

小野田洋子

滝しずくとどく素麺すすりけり

地に還る輪廻の定め落葉踏む

年新た未知の老春始まり

成美地区 南山会

開発 清二

いもの鍋ことこと煮えて寝正月

しずかなる元日なりしゑひもせず

石段の変らぬ堅さ初詣

山王地区 小・西・尻クラブ

大道えつ子

初霜や朝日眩しき中に立ち

売り出さる手帳選びし師走かな

マフラーを巻き買い物に急ぎけり

下関地区 南田町長栄会

牧長 幸子

家持の筆先走り水澄めり

新米の積まれ村々明るかり

野に風の自在に遊び吾亦紅

下関地区 神寺町長寿会

小栗 節子

紙コップ手で押しつぶす初冠雪

晩秋の山の湧き水素手で飲む

坂町の水路に柿の落ちにけり

大滝地区 本領クラブ

土倉 武勇

星空の月を見上げて平和だな

寝ぐらへと遅れて急ぐ鳥一羽

そよ風に波うつ稲穂黄金色



川柳

北老協川柳会

伏木地区

国谷 洋子 選

両陛下慈愛あまねく平成路

村田千恵子

平和な国横文字並ぶ観光地

佐野 澄枝

競い買いあれもこれもで遊休品

紺 健一郎

バーゲンの旗の勢い迫ってくる

堀 あつ子

夫バーゲン私ワコール下着つけ

竹原ひろ子

この年齢をバーゲンしても売れ残り

古木 彰

人情に借り貸し無しの思いやり

村上 芳雄

いつかのる「お悔み欄」に僕の名も

嶋村千代松

新聞の「おくやみ」爛の歳を見る

山口 徹郎

新聞で人間模様写し出す

西 英子

新聞が「溜まっているが」友案じ

一宮 郁代

新聞で知った隣のプライバシー

村田マリ子

スマホより活字文化の奥深き

串橋 稔

新聞で芸能界のすき間風

国谷 洋子



漢詩

下関地区

前田町梅寿会
跡地 孝吉

雨晴海岸 先韻仄起式

立嶽推銀炫海天

有磯層浪遠帆鮮

英雄避雨嶽猶有

松籟渚鴟談往年

※押韻 天・鮮・年

立山の積みつもった雪は海の上に輝く
有磯海のかさなってくる浪がみえ白帆が
鮮やかに見える

源義経が雨宿りした巖は現在もある
松風と渚のかもめが昔の物語を語っている

※万葉集(3954)

馬並めて いざ打ち行かな

洪谿(雨晴)の

清き磯廻りに 寄する波見に

(大伴家持)

前句

大滝地区 大滝クラブ 堂田 笑峰

「福袋誘い誘われ春の街」財布がゆるむ曾孫の笑顔
「右を向いても左を見ても」さそわれた教養講座最高齢
笠 大吉の有効期限孫聞いた

大滝地区 開辞クラブ 中川 笑雄

「右を向いても左を見ても」赤一色声張り上げる応援団
笠 大吉に宝くじ買い勝負する
天地「たこ」 高く舞う糸で操る男の子

大滝地区 木舟新クラブ 稲垣 邦子

「福袋誘い誘われ春の街」晴れ着姿にしばしみとれる
「右を向いても左をみても」錦鯉いるとりどりの花模様
沓 今もなお名所旧跡好奇心

西五位地区 西五位三区クラブ 地崎 愛子

「福袋誘い誘われ春の街」夢を買う人列をつらねる
笠 大吉でダルマに一つ目を入れる
天地「たこ」 高々と糸に引かれて喜ぶ子

木津地区 星寿会 竹田 直治

「右を向いても左を見ても」福袋見せ合う人のえびす顔
天地「たこ」 高い空揚がる糸引く男の子
折「炬燵(こたつ)」 ころる身の暖取り合って集まってる

山王地区 小・西・尻クラブ 大道 えつ子

天地「たこ」 高々と奴を上げて微笑む子
越 更年期避けて通れぬ道だった
沓 本屋ではベストセラーに好奇心

大滝地区 大滝クラブ 田中 睦風

「福袋誘い誘われ春の街」草木も踊る今日の幸福しあわせ
笠 大吉が家族に運を連れてきた
沓 これなあに瞳キラキラ好奇心

木津地区 星寿会 木間 美也子

笠 大吉が凶に還ると戒める
越 人智でも避けて通れぬ自然災
沓 老いてなおスマホに魅入る好奇心

大滝地区 大滝クラブ 田中 Q

「右を向いても左を見ても」電車内スマホいじりが静止画面
笠 大吉を引いて運気が強まった
越 友と呑む避けて通れぬはしご酒

大滝地区 木舟新クラブ 藤村 信子

「右を向いても左を見ても」黙々と指先走る車内外
笠 大吉が老いの心も弾ませた
沓 あれこれと生きる証に好奇心



西五位地区 向田クラブ 向井 崇代志

「右を向いても左を見ても」繰り返す被災地跡の瓦礫山

折「炬燵(こたつ)」心地よい畳の部屋でついごろり

沓 成長を背押し手助け好奇心

赤丸地区 鞍・尾クラブ 阿古下 和香

「福袋誘い誘われ春の街」スキップの孫汗を拭く老い

「右を向いても左を見ても」国際化利賀は錦でワンダフル

折「炬燵(こたつ)」小物縫う頼る温もり妻の冬

福岡地区 福岡一区長寿会 梅原 喜代治

「右を向いても左を見ても」ウォーキング野に咲く花に励まされ

笠 大吉が和みの家に居座った

越 物忘れ避けて通れぬ友白髪

大滝地区 本領クラブ 土倉 武勇

笠 大吉に思わず心和みけり

折「炬燵(こたつ)」こりゃ結構たまの休みはついごろ寝

越 山崩れ避けて通れぬ道ばかり

戸出地区 若葉会 古澤 澄子

「右を向いても左を見ても」老人が待合室で受診待つ

笠 大吉が出るか御神籤引いてみる

沓 ひとだかり足を止めさす好奇心

西条地区 波岡豊友会 山口 豊治

「福袋誘い誘われ春の街」新玉あらたまに買い気運高める

折「炬燵(こたつ)」こっそりとたくさん足でつつきあい

沓 姑が天井突つつく好奇心

西条地区 波岡豊友会 山口 康子

「右を向いても左を見ても」今の世は携帯電話必需品

越 呻き声避けて通れぬお年寄り

折「炬燵(こたつ)」この上に立って電球付け替えた

西五位地区 三日市クラブ 木村 重明

「福袋誘い誘われ春の街」行きは良き友着けば押し合った

笠 大吉を引こうと選って凶引いた

沓 いつまでも煩惱去らぬ好奇心

木津地区 星寿会 土田 由朗

「右を向いても左を見ても」年老いた女ばかりや喫茶店

天地「たこ」大門のいかのぼり見に駆け出す子

沓 発明も俳句も肝は好奇心

西五位地区 三日市クラブ 笠嶋 祥子(吉祥)

「右を向いても左を見ても」初詣手を合わせてる受験生

「福袋誘い誘われ春の街」背中押される平成の風



高岡市老連だより次回発行のお知らせ

今回は二〇一九年八月に発行を予定しております。

できるだけ多くの方の投稿が掲載出来るよう、次の点に留意されますようお願いいたします。

○各クラブの活動状況・随想等

四百字詰め原稿用紙一〜二枚程度

○短歌・俳句・川柳等

一人一種目に限定し、三首以内にして下さい。

○前句

一題一句とし、一人三句以内にして下さい。

出題句は次の六種七とおりです。わからないことは選者に電話下さい。

「前句は高岡市の認定文化に指定されています」

一、長題

「台風が次から次とやって来る」七、七 を付句する。

「支えられたり支えてみたり」五、七、五 を付句する。

結句は次の句につながる助詞止めや形容詞止めはさけて、言い切るか、名詞止めにする。

二、笠題

「エアコン」つなぎの助詞(が・で・に等)を付けて七・五を付句する。結句のしめくり方は俳句のように名詞止めにしたら失格です。

必ず完全終止形(・・た。・・る。・・けり。)にする。

三、天地題

「月」"つ"で始まり"き"で終わる。内容は「月」のことを詠む。

四、折題

「うちわ」五、七、五のそれぞれの頭に"う"、"ち"、"わ"と入れ、内容は「うちわ」のことを詠む。

五、越題

「うっかりとして」五・七・五の中に句に詠み込む。

六、沓題

「夏休み」五・七・五の結句にそのまま詠み込む。

※長題・天地題・折題の付句には、出題句の漢字や言葉を使用してはいけない。

(字ざわりで失句になります)

一部添削させていただきました。ご了承の程よろしく願います。

※前句の投稿は次の選者宅へ、前句以外の投稿は市老連事務局へ

〒九三九一〇二〇二 高岡市福岡町三日市五五五

笠嶋 祥子

電話・FAX ○七六六一六四一二四一七

○地区名・単位クラブ名・氏名を明記して下さい。

○締め切り

二〇一九年六月末まで 必着

編集後記

新年明けましておめでとございます。

会員の皆様には、お健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

新しい年と云えば本年五月から新元号になりますが、はたして新しい元号名は何となるか楽しみですね。と云っても「月日の流れ」や「生活環境」がガラッと変わることも無いでしょうから、特に大騒ぎすることも無いような気がします。

一方、元号が変わること、その前からいろいろ準備が大変な方々がおられます。関係者以外の人にはあまり影響がないとは思いますが、毎年新しい年を迎えるにあたり、多くの人々はそれぞれ気持ちも決意も新たにされると推察します。同じように新元号になる際、気持ちも新たにされる方も多いんじゃないかと思われれます。元号が変わるといのは人生の中でそう何回も経験することはないと思っております。

と云うことで、皆様方のご投稿をお待ちしております。

会員の皆様の今後のご健勝とご多幸をお祈りいたします。本年もよろしく願っています。

広報委員長 藤本 哲也

